

2015年度 日本語教育学会秋季大会
パネルセッション④

外国人児童のリテラシー発達を支援する

「国語科の授業における言語活動
の実際とその課題」

(中村 和弘)

齋藤ひろみ(東京学芸大学教育学部)

森篤嗣(帝塚山大学)

岩田一成(聖心女子大学)

中村和弘(東京学芸大学教育学部)

司会 池上摩希子(早稲田大学)

平成27年10月10日(土)

国語科学習の基本デザイン

- 戦後 機能的リテラシー

「書物の選択力や、読みとった観念を実生活の上に利用する積極的な能力」の不足の指摘(輿水実)

- 昭和40年代以降 能力主義

現実の「生活内容」を排除して、技能や能力を絞り基本事項を精選し系統化する

- 現在 「生きる力」「日常生活・社会生活」

「実生活の様々な場面における言語活動を具体的に内容に示す」(「国語科改定の趣旨」)

国語科学習指導要領の構造

■ 教科として全体の目標

国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力及び言語感覚を養い、国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てる。



■ 2学年ごとの【目標】

「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域ごとの示される



■ 2学年ごとの【内容】

各領域ごとに(1)「指導事項」と(2)「言語活動例」が具体的に示される

「書くこと」低学年の指導事項と言語活動例

(1) 指導事項

ア 経験したことや想像したことなどから書くことを決め、書こうとする題材に必要な事柄を集めること。

イ 自分の考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。

ウ 語と語や文と文との続き方に注意しながら、つながりのある文や文章を書くこと。

エ 文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いなどに気付き、正すこと。

オ 書いたものを読み合い、よいところを見つけて感想を伝え合うこと。

(2) 言語活動例

ア 想像したことなどを文章に書くこと。

イ 経験したことを報告する文章や観察したことを記録する文章などを書くこと。

ウ 身近な事物を簡単に説明する文章などを書くこと。

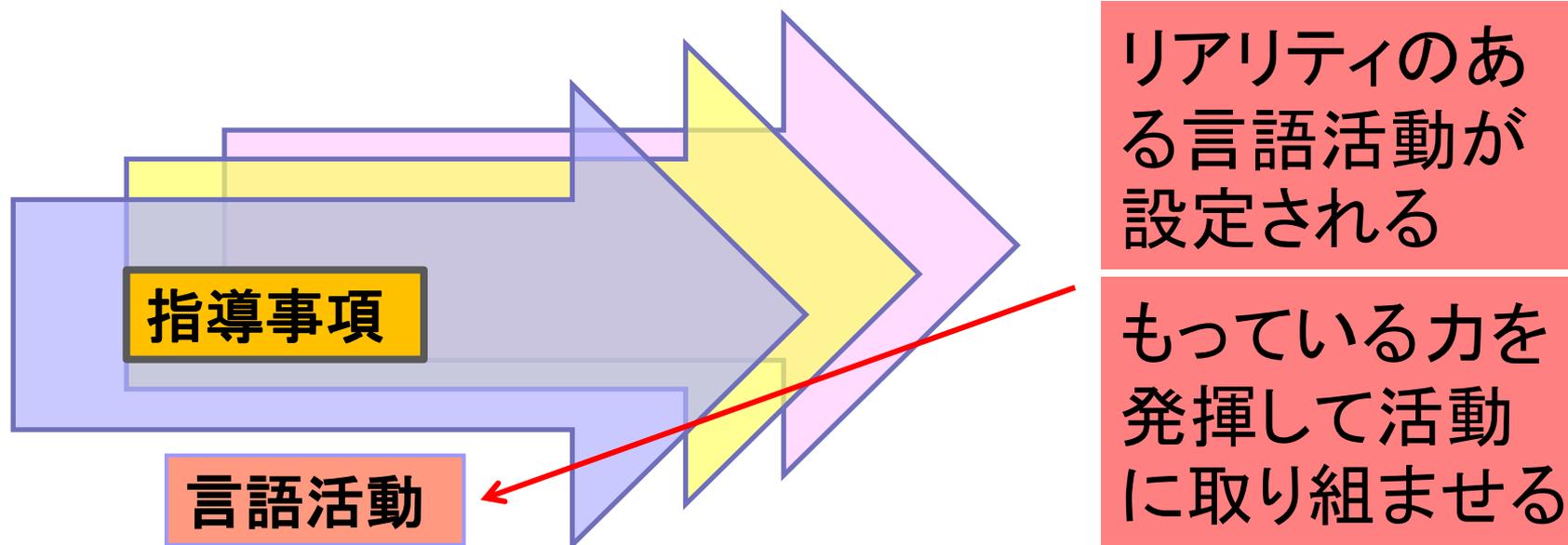
エ 紹介したいことをメモにまとめたり、文章に書いたりすること。

オ 伝えたいことを簡単な手紙に書くこと。

言語活動ベースの国語科の授業 — 言語活動例を通して指導事項を教える —

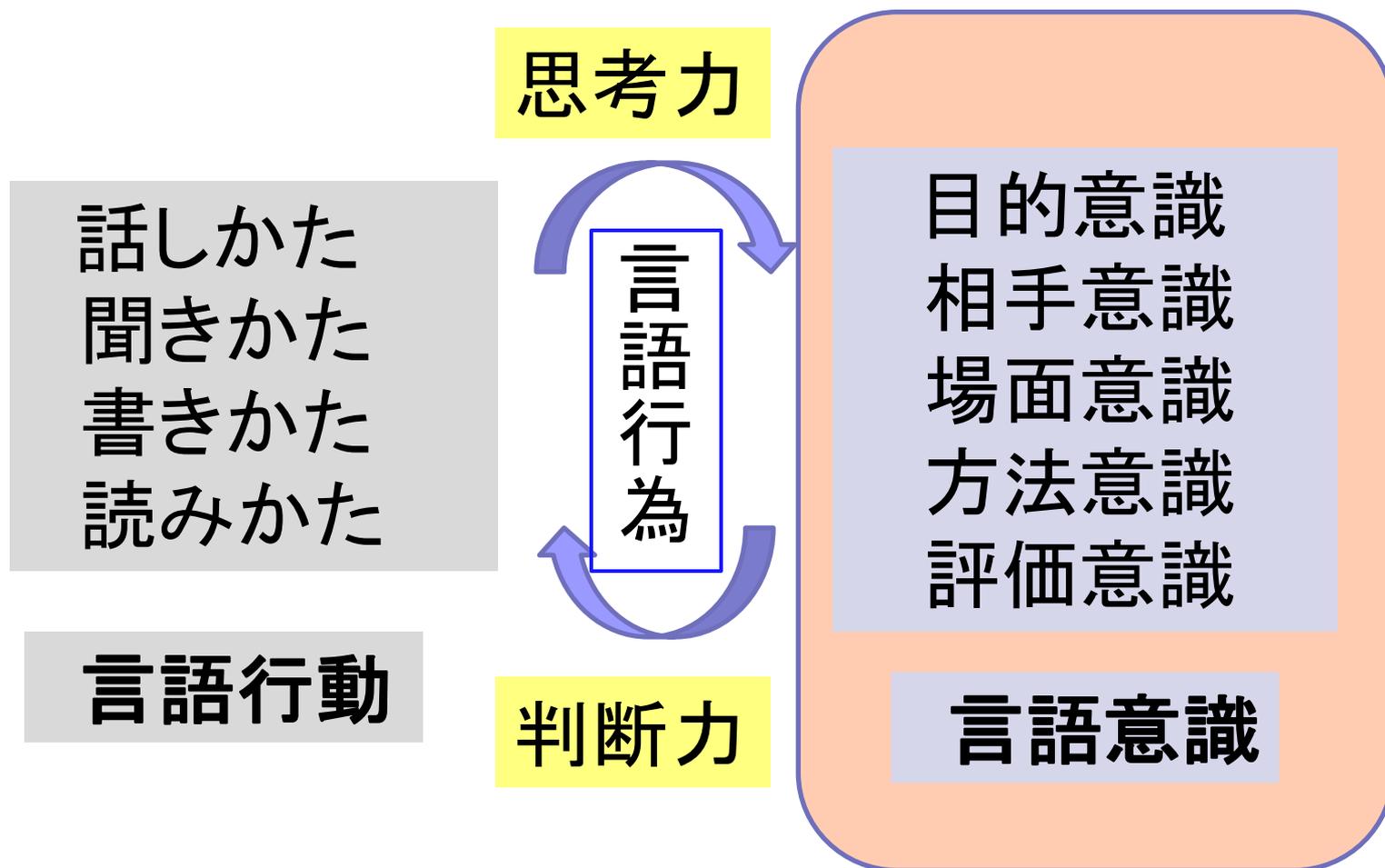
■ 国語科の学習デザイン

＝活動することを通して、言葉の力を高める



課題・活動には取り組むが指導事項が身につかない／言語活動が一律化される

「リアルな言語行為」としての言語活動を通して学ばせる（「文脈」「状況」を重視する）



リアリティのある言語活動の陥穽

—どんな言葉遣いにすればいいか—

- 相手に失礼のないよう、文の終わりは「です」「ます」にそろえます。
- 友だちなど、身近な人には、親しい言葉づかいでもいいですね。

「この相手だからこのように書く」は誰しも諒解できること(できていること)か？

諒解できていないことが、(文脈や状況が重視されている分)学習のつまずきの要因になるのではないか

「どんな言葉遣いにすればいいか」をどう教えるか

「話し言葉」と「書き言葉」

- その特徴に合わせて、適切に使いましょう
- 比べてどのような違いがあるか話し合いましょう
- 話し言葉では... 書き言葉では...

言葉を使うときには、自分の気持ちや考えを一方的に伝えるのではなく、相手の立場や気持ち、相手がどのように受け取るかということを考えることも大切です

**話し言葉と書き言葉について5年生の児童に
何をどう教えればよいか？**

5 がつ 1 にち すい ようび

1ねんせいになって

14 にちめ



5 がつ 9 にち もく ようび

1ねんせいになって

18 にちめ



「いちねんせいにつき」5月

「絵」から「言葉」へ

7 がつ 2 にち か ようび

1ねんせいになって 55 にちめ

きのう4-くみのまはるくんと
どろぼうをしていなかど、かいちか
とちゅうだよなにもや、ていなくの
に?

ほんと、それはまひろくんか、ちよとちひいマカ、9回ね。



「いちねんせいにつき」7月

7 がつ 9 にち か ようび

1ねんせいになって 60 にちめ

きょうりさか、こうであさかおを
さなごいてるんだよ、きょうあさかお
か、さいたよ、いりはみず、いりなよ、
りきうれしいよ、みず、いりて
く、いりみずをつく、なよ。



「話し言葉」による文章へ

書きことば
先生、あのね
りさね、楽しかったよ
表現活動の工夫

話しことば
「先生あのさあ」
「ねえねえ、聞いて」
おしゃべり、会話
(一次的ことば)

書きことば
～して楽しかったです。
私は～だと思いました。
日記、作文、ノート

話しことば
「〇〇だと思います」
「〇〇をしませんか」
スピーチ、話し合い
(二次的ことば)

書くことば

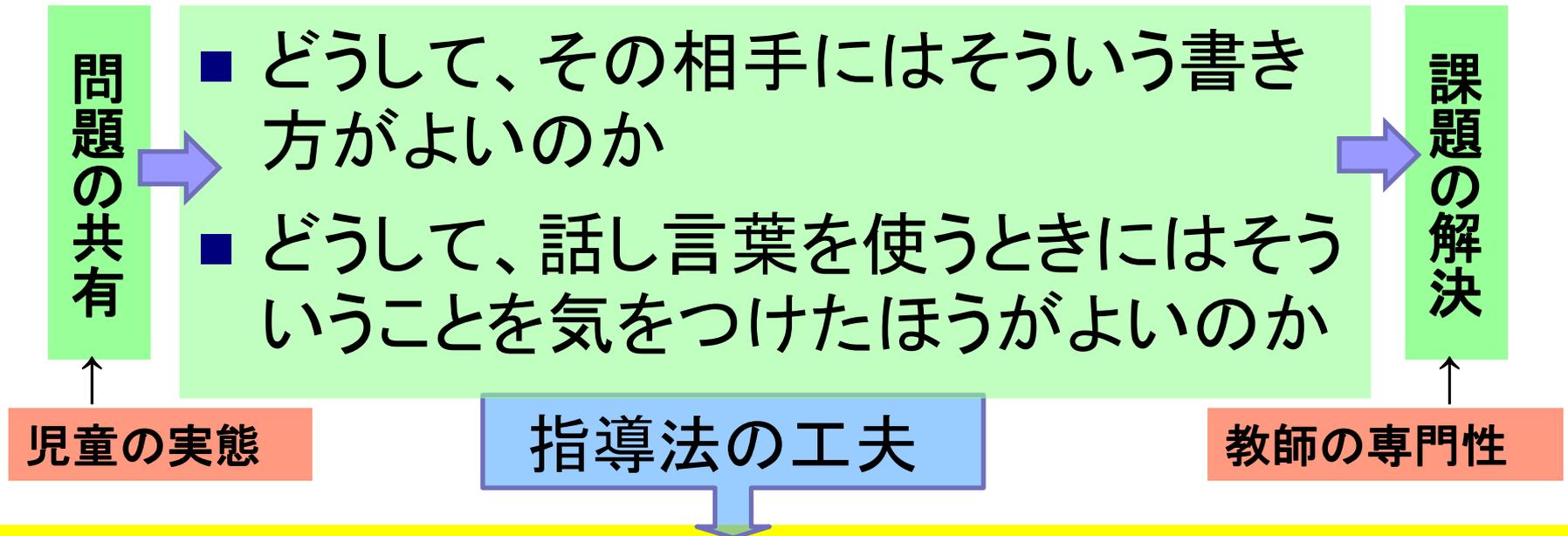
話すことば・聞くことば

話すように書くことを経由して、書き言葉を習得していく

まとめとして

- 言語活動を通して、文脈や状況に即して日本語を適切に使う(目的や相手、場面に応じて使う)

× こういう相手にはこう書きます→では、書いてみましょう



個々人の言語活動ベースの国語科学習可能性の拡大へ